



宇都宮市のDX推進と 外部デジタル人材の任用 について

令和5年11月15日
宇都宮市 総合政策部 デジタル政策課

Super Smart City

宇都宮市の概要

栃木県のほぼ中央、東京から北に約100kmに位置



栃木県内観光名所

宇都宮市は栃木県のほぼ中心に位置しており，世界遺産の日光東照宮をはじめとした県内各観光名所への玄関口となっている。



日光東照宮



鬼怒川温泉郷



あしかがフラワーパーク



那須高原



ツインリンクもてぎ



益子焼



餃子

- 総務省 家計調査で1世帯当たりの年間購入額が2010年まで15年連続日本一、また、2013年、2017年、2019年も日本一の座を獲得するなど、本市の重要な観光資源！
- 老舗店が並び、GYOZAモニュメントや餃子マンホール、電柱看板、餃子型街灯などが掲げられた餃子づくしの「餃子通り」



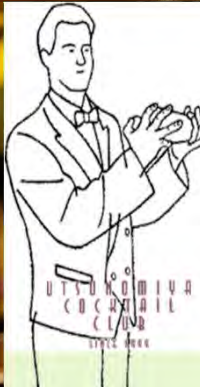
ジャズ

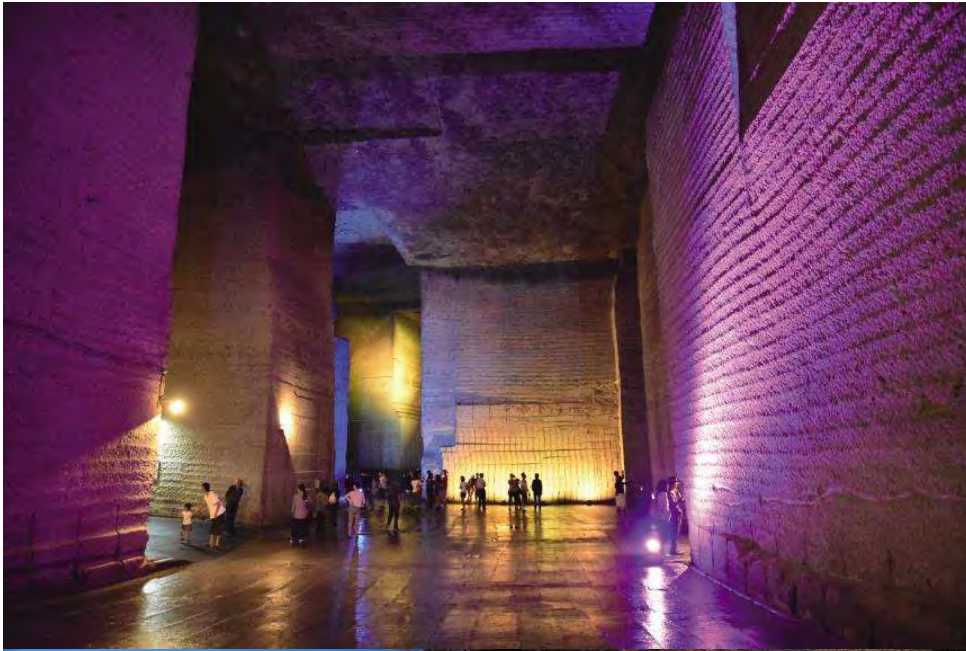
- アルトサックス奏者の渡辺貞夫氏，トランペット奏者の外山喜雄氏など，多くの有名ジャズプレイヤーを輩出
- 市内にはジャズライブが楽しめるバーやスポットが数多く点在
- 宇都宮ジャズクルージングやミヤ・サンセットジャズなどのジャズイベントを開催

カクテル



- 全国規模のコンテストで宇都宮市のバーテンダーが4年連続総合優勝したことがきっかけ
- カクテルカーニバル（5月下旬）やカクテルナイト（10月）などのカクテルイベントを開催





大谷

- 宇都宮市の特産物「**大谷石**」が採掘されるエリア
- 大谷資料館や大谷寺（平和観音）、カネホン採石場など、豊富な観光資源が話題
- 最近ではカフェやパン屋などのお洒落スポットも増えており、大谷の観光入込客数は増加
- 大谷アンダーグラウンドなど、地底湖の体験ツアーが可能

宇都宮市の観光資源

F I B A 3 x 3 ワールドツアー

- ・ 3人制バスケットボールの国際大会
- ・ 2016年から大会を誘致
- ・ 宇都宮二荒山神社参道及び宇都宮市バンバ市民広場に特設コートを設置
- ・ 2022年5月から ツアー開幕戦である「オープナー」を開催

令和5年は4/28～4/30に開催



2022年5月に開催された
F I B A 3 x 3 ワールドツアー-うつのみやオープナー

宇都宮市の観光資源

ジャパンカップサイクルロードレース

- ・世界で活躍するトップ選手が多数参戦する自転車ロードレースの国際大会
- ・ワンデイレース（1日で勝者を決めるレース）としては、アジアNo. 1のレース
- ・毎年10月に森林公園をメイン会場に開催
- ・ロードレース前日には大通りを会場にクリテリウム（短い距離の周回レース）を開催



ジャパンカップクリテリウム
（大通り周回コース）



ジャパンカップサイクルロードレース（森林公園周回コース）2022年は10月14日～16日開催

宇都宮市のまちづくり（主要な取組）



全線新設となるLRTの開業（令和5年8月26日開業）

JR宇都宮駅東側のLRT導入ルート（総距離14.6km）
○ トランジットセンター（乗り換え施設）想定箇所 ● 停留場



住む、働く、学ぶをつなぐ

はじめに・・・



第6次宇都宮市総合計画改定基本計画 (後期基本計画：令和5年2月策定)

スーパースマートシティの実現
における

「デジタル」の位置づけ

Super Smart City

1 時代潮流の変化

(1) 人口減少・少子超高齢化の深刻化

(2) デジタル化の急速な進展

(3) 脱炭素社会構築に向けた要請の高まり

(4) 新型コロナウイルス感染症等による人々の価値観
の変容

1 時代潮流の変化

(2) デジタル化の急速な進展

- 近年，IoT，AIや自動運転，ドローン，データ連携基盤などの**新たな技術が急速に社会に浸透**してきています。
- 一方で，情報セキュリティや個人情報保護に対する**不安**や，デジタル技術を活用できる人とそうでない人との間に格差（**デジタルデバイド**）が生じています。

時代潮流の変化を踏まえ、必要となるまちづくりの視点

- 地域を構成する**市民・事業者・地域団体・行政**がそれぞれの立場でデジタル化に取り組み，互いに協力・連携していけるよう，デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進に向けた**環境の構築**や**デジタル人材の育成・活用**などに取り組む必要があります。
- また，誰もが安全に，安心してデジタル技術を活用できるよう，あらゆる市民がデジタルサービスを利用できる，**人に優しいデジタル化**や**情報セキュリティ対策**，**個人情報等の取扱いの明確化**を進める必要があります。

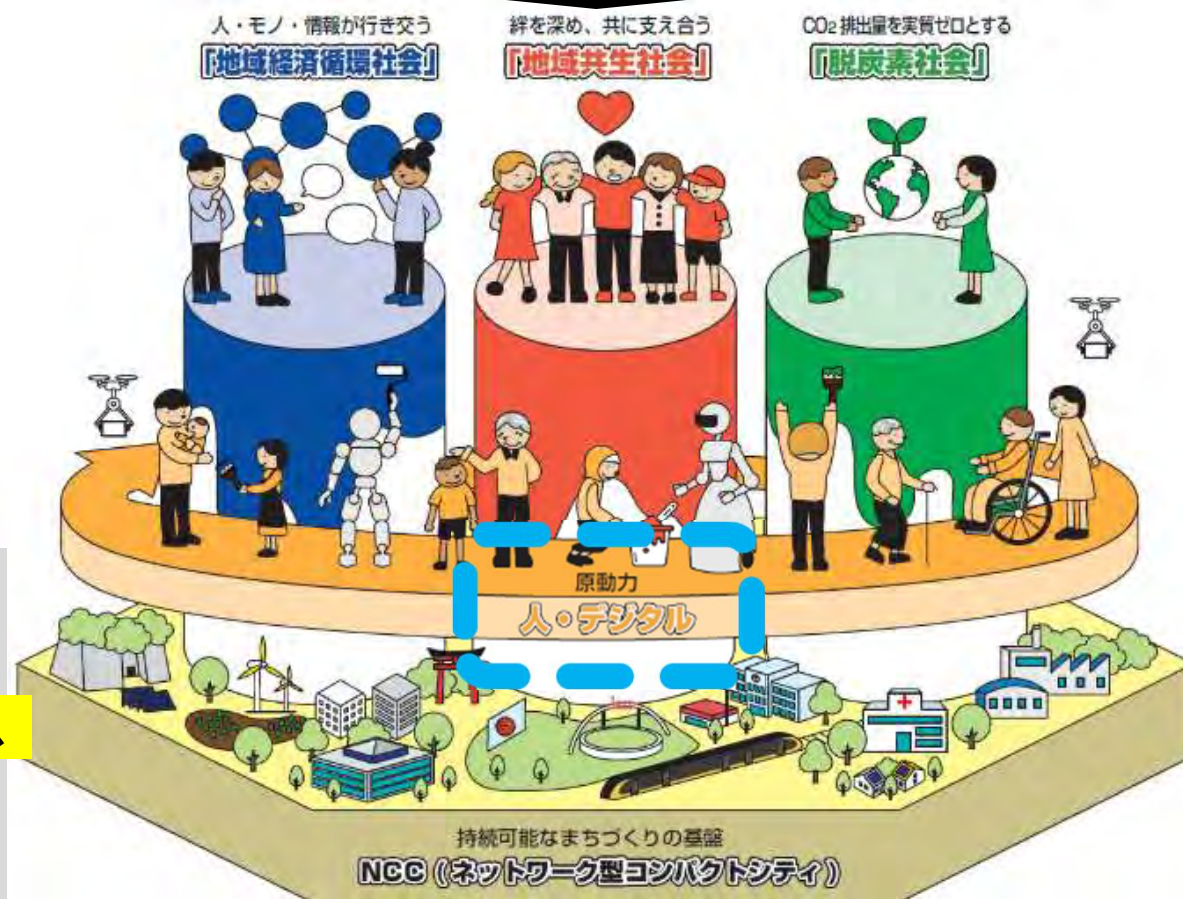
目指すまちの姿

1 目指すまちの姿「スーパースマートシティ」

“概ね2030年頃の具体的なまちの姿”

時代潮流の変化を的確に捉えながら、基本構想に掲げる「将来のうつのみや像（都市像）」を実現し、周辺市町を含めた圏域全体の発展を図るとともに、SDGsの達成にも貢献していくため、概ね2030年頃を見据えた具体的なまちの姿として、「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち『スーパースマートシティ』」の実現を目指します。

■スーパースマートシティとは
「スーパースマートシティ」は、100年先も発展し続けるまちの姿「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」を土台に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」です。



目指すまちの姿

2- (2) 「スーパースマートシティ」を構成する「3つの社会」と「2つの原動力」

人・モノ・情報が行き交う 「地域経済循環社会」

女性や高齢者、障がい者、外国人など誰もが自分の力を最大限に発揮することができるとともに、地域の事業者の成長や地域内での消費・需要の拡大を図るほか、次世代産業の集積や起業支援、大谷やプロスポーツ等の地域資源の活用などにより高い付加価値を創出し、人・モノ・情報の交流をNCCが促進することで、地域内において経済が循環する豊かな社会

絆を深め、共に支え合う 「地域共生社会」

NCCの強みを生かし、性別や国籍、障がいの有無などに関わらず、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるとともに、地域に思いやりがあふれ、絆を深めながら、孤独や孤立に寄り添い、支えられる社会

CO2排出量を実質ゼロとする 「脱炭素社会」

移動しやすく歩いて暮らせるNCCや本市独自の「もったいない」のころのもと、公共交通の利用などによる、脱炭素型ライフスタイルの推進や再生可能エネルギーの地産地消、森林保全などにより、「カーボンニュートラル」を実現し、100年先も輝き続けられる宇都宮を将来世代に残すことができる社会



協働・共創によるまちづくりの担い手となる 「人」づくり（次世代育成・少子化対策の強化）

人口減少・人口構造の変化に対応できる少子化対策や将来のうつのみやを担う若年層に選ばれるまちづくりなど、進学、就職、結婚、出産などの市民のライフイベントに応じた希望を叶える支援を強化します。

市民の誰もがデジタルの恩恵を享受できる 「デジタル」の活用

官民が連携し、市民の誰もがデジタルの恩恵を享受できる環境を構築していくとともに、デジタルによる変革（DX）を通じて、新たなまちの活力を創出するなど、より良い本市の未来（スーパースマートシティ）を共創していきます。

宇都宮市のDX推進について

◎ 宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン&
宇都宮市DX実現タスク

Digital Transformation

原動力としての「デジタル」

Digital Transformation

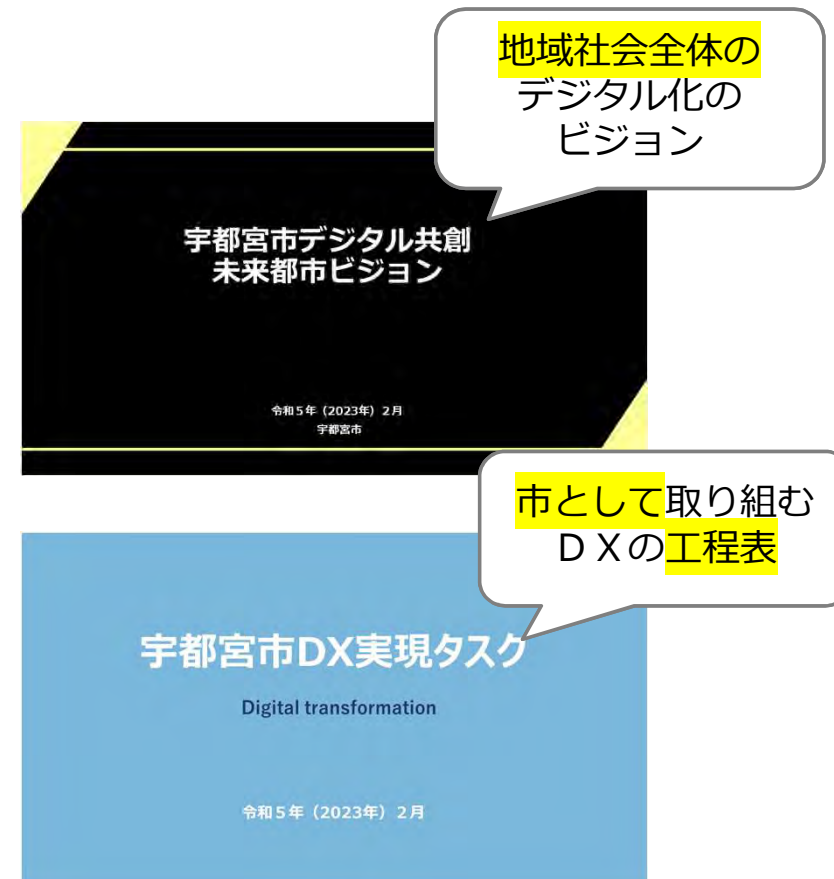
本市DXのビジョン

- ▶ 第4次情報化計画を刷新し、令和5年2月に「**うつのみやデジタル共創未来都市ビジョン**」「**宇都宮市DX実現タスク**」を策定



令和5年2月定例記者会見 (R5.2.21)

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/koho/kishahappyo/1031090.html>

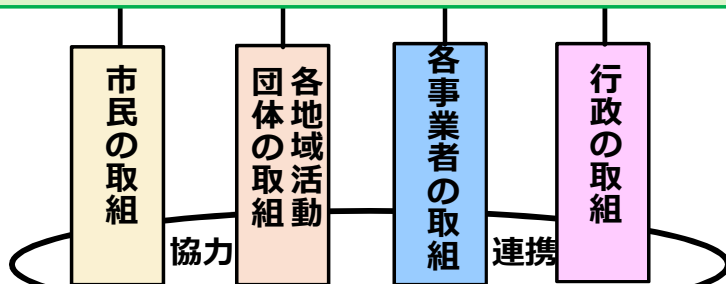


地域社会全体のデジタル化を推進する、 「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」

- ▶ 本年2月に策定した「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」では、地域を構成する市民・事業者・地域活動団体・行政等の各主体が本市のより良い未来を共創（協力・連携しながらデジタル化に取り組むこと）していくための「デジタル活用の基本理念」と、各主体が共通の価値観をもって取り組めるよう「デジタル活用の基本方針（行動規範）」を掲げた。

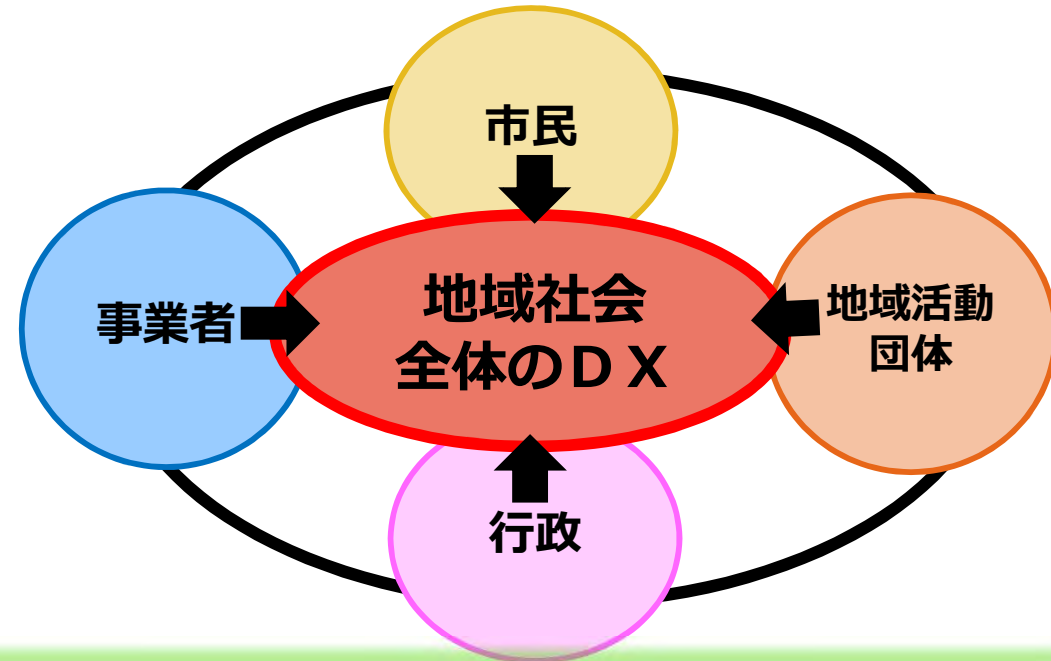
宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン

デジタル活用の基本理念
「人に優しく まちを元気に 未来を創る 雷都のデジタル」



デジタル活用の基本方針（行動規範）

- ① 前例にとらわれない
- ② アジャイル（迅速・柔軟）で
- ③ サービスデザインは利用者視点で



地域の各主体がそれぞれの状態に応じたデジタル化に取り組み、地域が一丸となって、地域社会全体のデジタル化やDXの実現を目指していく。

スーパースマートシティの実現に向けた 概ね5年後までに実装を目指す取組（主なもの）

「地域共生社会」 に貢献するデジタル

■ 支え合える社会づくり



▶ オンライン空間（メタバース等）を活用した新たな「居場所」づくり など

「地域経済循環社会」 に貢献するデジタル

■ 来訪者等の利便性等が
向上する社会づくり



▶ 観光拠点等におけるARやVR、MRなどの先進技術等を活用した臨場感等のある質の高いサービスの提供 など

「脱炭素社会」 に貢献するデジタル

■ 再生可能エネルギーの導入と
活用が進む社会づくり



▶ AI等を活用したエネルギー管理システムによる最適化 など

「まちの基盤 NCC」 に貢献するデジタル

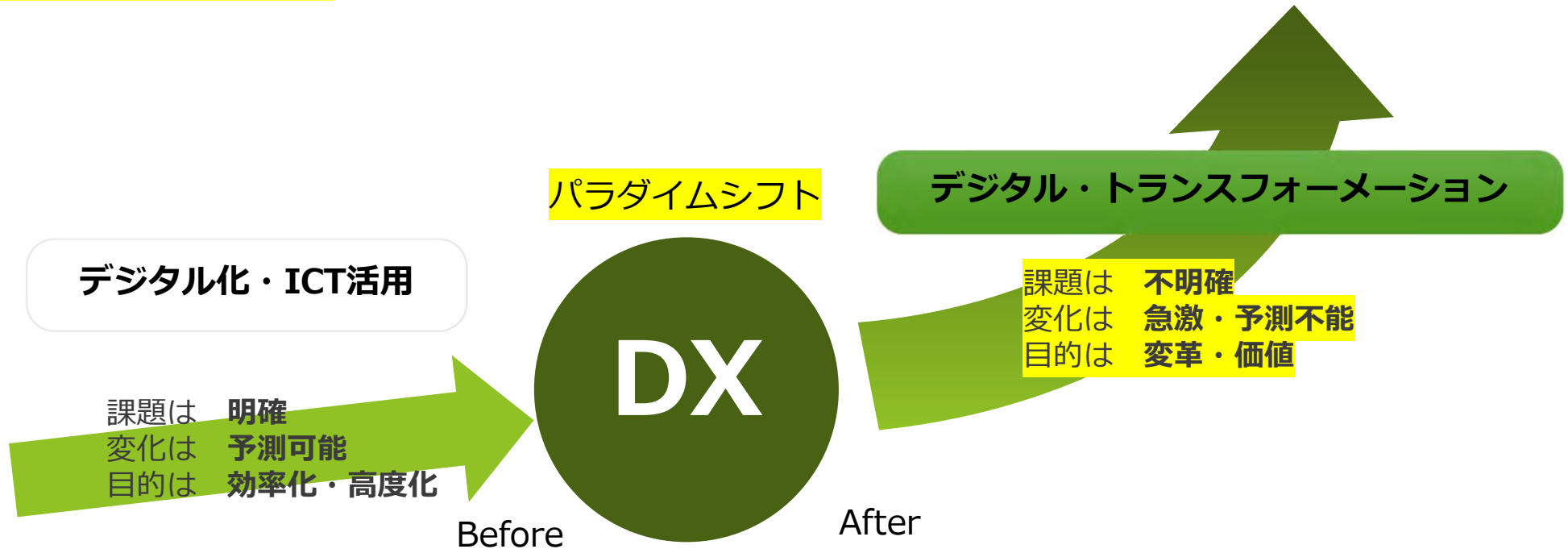
■ 市民等の利便性や快適性が
向上する都市基盤づくり



▶ 観光・交通等の情報を発信するデジタルツールの整備や「totra」を活用したサービスの充実 など

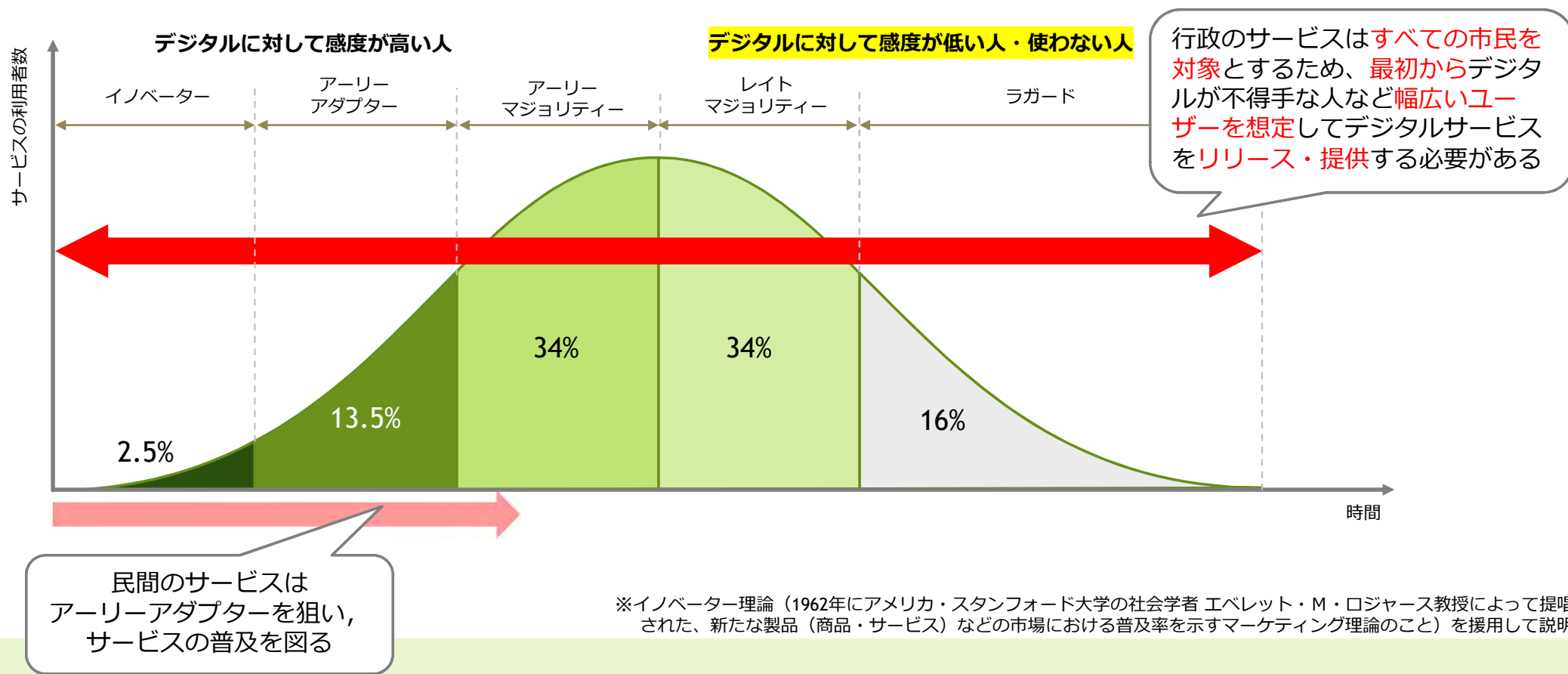
行政DXの実現に向けて 「DX実現タスク」

- ▶ これまでの「計画的なICT利活用の促進」の観点から大きく転換し、既成概念の打破や新たな価値の創造を伴う「DXの実現」に向けた取組を戦略的に推進するために策定
- ▶ タスクに沿ったDXの取組の推進により、本市職員の認識・意識・考え方・行動や、組織文化が根本的に変わることを目指す



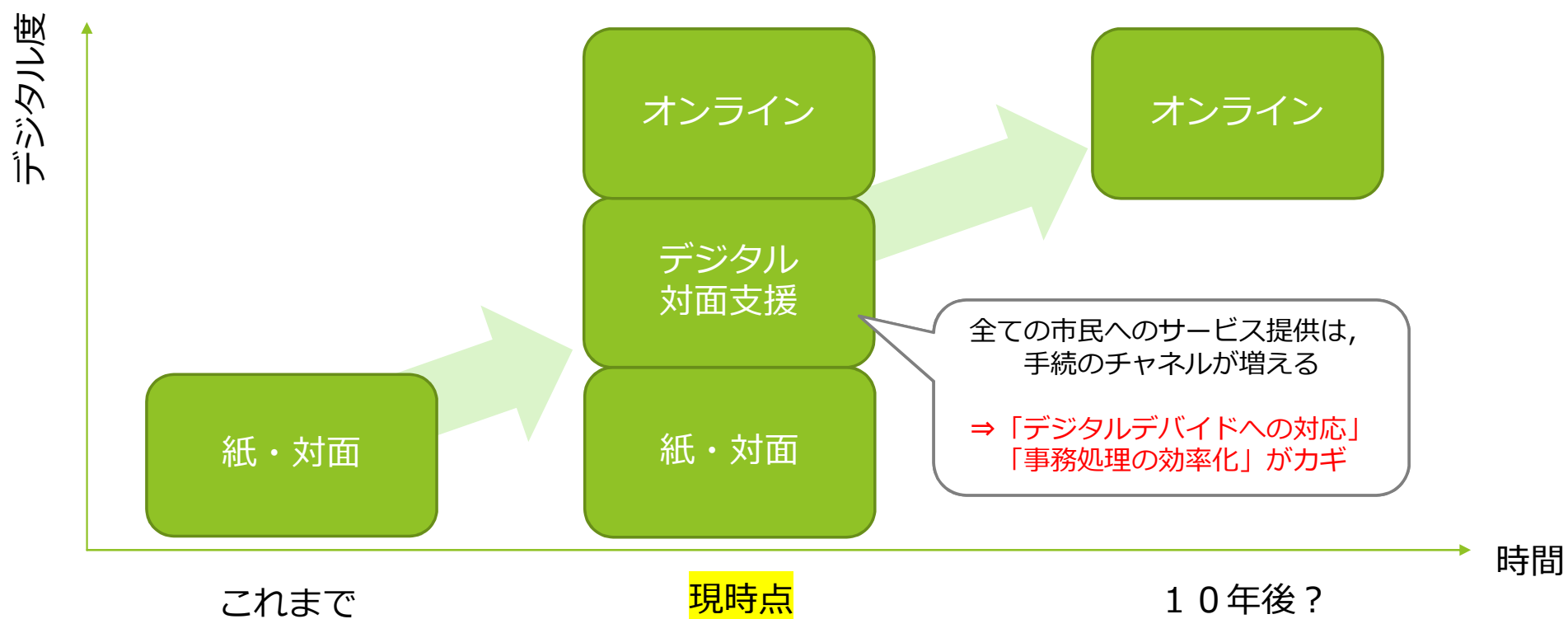
「行政DX」特有の背景

▶ 行政サービスのデジタル化を進める場合、そのターゲットは全市民



「行政DX」特有の背景

▶ 現時点では、「すべてデジタル」ではなく、「デジタルでもできる」



「行政DX」特有の背景

▶ 【事例】スマートフォンを前提とした「マイナポイントの申込」

- ▶ 本市のスマートフォン普及率は約9割に達するものの、スマートフォンの操作に不得手な市民はまだ多く、デジタル前提のサービス提供には**対面支援も必要**



出典：とちテレNEWS公式YouTubeチャンネルより 令和5年1月26日アップロード

マイナカード申請駆け込み増 特典申請期限は2月末 市町の窓口混雑

2/14 11:30

市政・市政

[ツイート](#) [シェアする](#) [LINEで送る](#) [B!](#)







利用者が混雑するマイナポイントの申し込み支援窓口＝13日午前、宇都宮市役所

最大2万円分の「マイナポイント」を付与するマイナンバーカード取得の申請期限が2月末に迫り、県内市町の関連窓口が混雑している。市町は窓口の増設などで対応を強化しているが、駆け込み申請で追いつかず「対応しきれない」との声も漏れる。14日で締め切りまで残り2週間。期限が迫るにつれ窓口の混雑は増す見込みもあり、各市町の担当者は早めの申請やオンラインの活用を呼びかけている。

出典：下野新聞公式サイト「SOON」より令和5年2月14日記事

行政DXの実現に向けて 「DX実現タスク」

- ▶ 行政DX特有の背景を踏まえ、「市民視点」×「行政視点」の両面から、**サービス、手続・業務、人、環境**のすべての要素におけるDX実現を目指す

| | 市民視点 (サービスデザインは市民視点で！) | 行政視点 (前例にとらわれず、柔軟・迅速に！) |
|-------|--|---|
| サービス | ① スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等 (※) <small>「スーパースマートシティ」の名にふさわしい、市民の暮らしを快適・便利にするデジタルサービスを提供します</small> | |
| |  |  |
| | |  |
| | |  |
| | ※地域団体・事業者を対象とした支援も含む | |
| 手続・業務 | ② スマート窓口の実現 <small>すべての市民が、意識することなく最適なデジタル技術を活用して、いつでも・どこでも・簡単に手続が完結する窓口を実現します</small> | ⑤ 業務のデジタル変革 <small>紙文化からの完全脱却、規制の抜本見直し、デジタルのフル活用によりデジタルを前提とした業務の在り方への大転換を図ります</small> |
| 人 | ③ デジタルデバイス対策・デジタル人材育成 <small>市民がデジタルリテラシーを身につけ、デジタルを活用できるようにすることや、市民が安心してデジタルサービスを利用できるようにします</small> | ⑥ 庁内DX人材の育成・確保 <small>全職員のデジタルリテラシーを底上げし、専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します</small> |
| 環境 | ④ デジタル社会基盤の強化 <small>マイナンバーカードやデジタル地域通貨、新たな通信環境など、ハード・ソフトのデジタルインフラを広く普及させることで、本市のデジタル社会基盤を確固たるものとします</small> | ⑦ スマートワークの実現 <small>執務環境を全面刷新し、デジタルを最大限に活用して、いつでも・どこでも職員的能力が最大限に発揮される環境を整備します</small> |



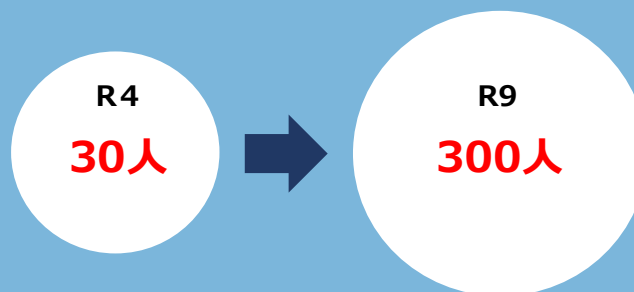
令和5年2月策定「宇都宮市DX実現タスク」より

重点取組事項 ⑥庁内DX人材の育成・確保

全職員のデジタルリテラシーを底上げし、
専門性の高いDX人材の発掘・育成・適正配置することで、DX組織の確立を目指します

■ KPI

ローコード・ノーコード開発
ができる職員数



| | 取組内容 (毎年度ローリング) | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 |
|---------------|--|----------------|-----------|----|----|----|
| 職員のDXリテラシー向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● DX推進部門におけるDX人材の発掘・育成 ● ローコード・ノーコード型システム開発・活用の推進 ● 全職員のデジタルリテラシーの底上げ ● 情報セキュリティ対策の推進 | 全職員のDX研修の実施 | | | | |
| | | DX推進部門の人材発掘・育成 | | | | |
| 外部デジタル専門家等の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ● CIO補佐官の任用 ● デジタル専門家などの外部ノウハウの積極的な活用 | CIO補佐官 試用任用 | CIO補佐官の任用 | | | |

● : フォアキャストの取組, ◎ : バックキャストの取組

行政DXの実現に向けた 「ひとづくり」

- ▶ 組織
- ▶ 人材

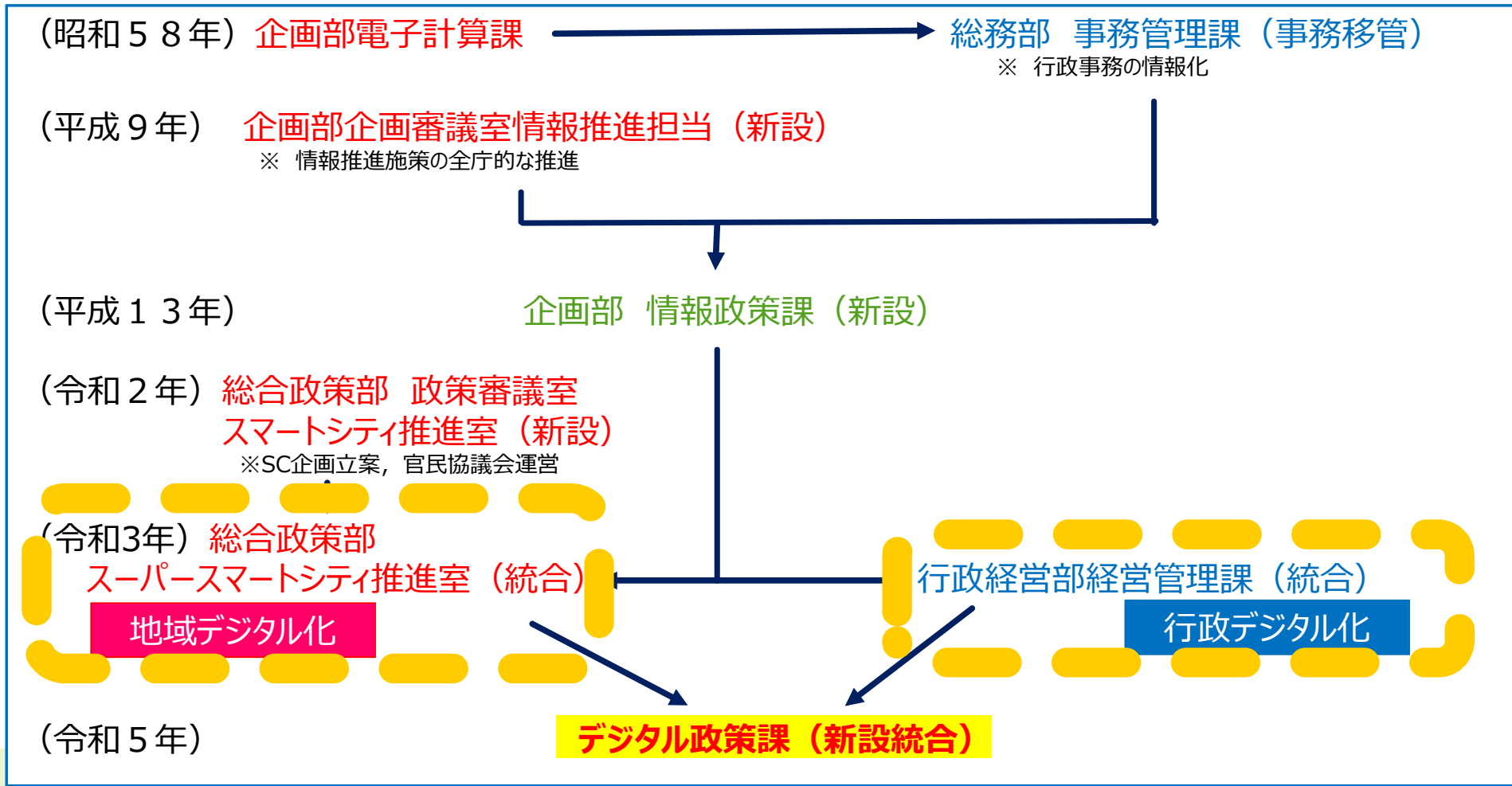
Administrative Management

組織

organization

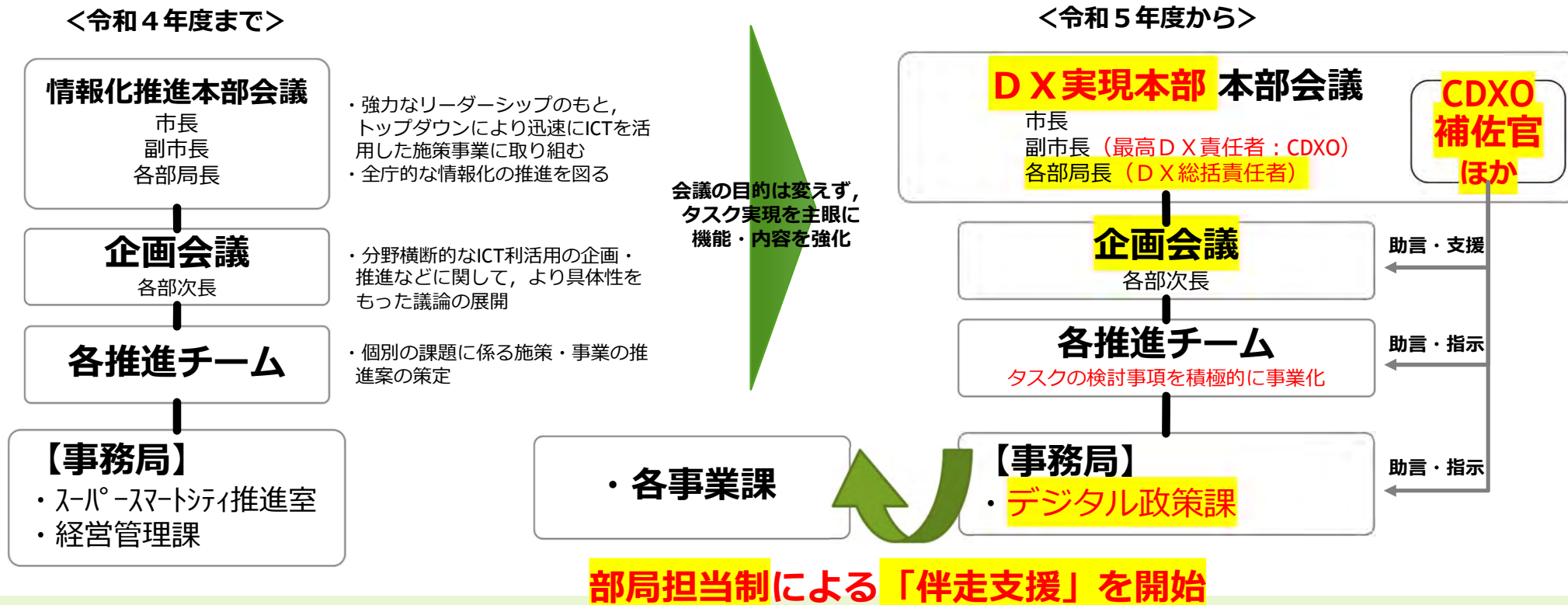
行政DXの実現 「組織」

▶ 旧来の「情シス部門」から政策的な見直しを経て、「DX専門部署」を設置



行政DXの実現 「組織」

- ▶ 令和5年度から、市長をトップとする「宇都宮市DX実現本部」を設置
- ▶ 副市長を「最高デジタルトランスフォーメーション責任者（CDXO）」に任命し、推進体制を強化



行政DXの実現 「人材（幹部級）」

▶ DXに関する施策を強力に推進するため、外部の専門人材を**4名**任用

CDXO補佐官 井出 昌浩

NECマネージングディレクター 信州大学特任教授（博士）



- ⇒組織全体を俯瞰し、政策課題や技術動向等を踏まえて、どのようなものに積極果敢に取り組んでいくべきか、どのように具体化すべきかなどの戦略について指示
- ⇒職員の意識醸成、**デジタル人材の育成**に取り組む

DX専門官 下山 紗代子

(一社)リンクデータ 代表理事
デジタル庁データスペシャリスト、
みえDXアドバイザー



- ⇒デジタル化により生み出されるデータを最大限に生かす**仕組・環境（データアーキテクチャ）の構築**について指示・助言

DX専門官 東 宏一

GrooveDesigns(株)取締役
デジタル庁プロジェクトマネージャー、
福岡市DXデザイナー




- ⇒サービスデザインの視点から、市民目線で本市の**アプリやポイント等の各種デジタルサービス**を見直し、**実装**について指示・助言

DX専門官 川口 弘行

川口弘行合同会社 代表社員
港区情報政策監、目黒区情報政策監



- ⇒市民サービスの根幹である自治体システムの標準化・クラウド化への確実かつ円滑な移行に向けた**横断的なプロジェクトマネジメント**に取り組む

- 
- ・**新たに取り組むべき事業**や現在の取組の**改善策**について**提案**
 - ・**プロジェクトマネージャーの立場**として、**取組や検討を牽引**

令和5年5月26日付でCDXO補佐官及びDX専門官を任用（特別職非常勤職員）

| | 職務・役割 | 所掌する主なDX実現タスク 重点取組事項（R5優先検討事項） | |
|--|---|---|--|
| CDXO補佐官 井出 昌浩 NEC マネージング ディレクター 信州大学特任教授 | ⇒組織全体を俯瞰し、政策課題や技術動向等を踏まえて、どのようなものに積極果敢に取り組んでいくべきか、どのように具体化すべきかなどの戦略について指示 ⇒職員の意識醸成、 DX人材の育成 に取り組む | ① スーパースmartシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等 | ・オンライン空間を活用した居場所づくりや戦略的観光の推進 ・文化芸術分野におけるデジタルツイン等の活用 ・3D都市モデルを活用した防災シミュレーションの検討 等 |
| DX専門官 東 宏一 GrooveDesigns(株) 取締役 | ⇒サービスデザインの視点から、市民目線で本市の アプリやポイント等の各種デジタルサービスを見直し、実装 していく | ⑥ 庁内DX人材の育成・確保 | ・全職員のデジタルリテラシーの底上げ ・DX推進部門職員の知識・スキルの習得・蓄積 |
| | | ② スマート窓口の実現 | ・全庁的な行政手続オンライン化の加速 ・書かない窓口システム導入など |
| | | ③ デジタルデバйд対策 | ・あらゆる市民がデジタルの恩恵を受けられる環境づくり |
| | | ④ デジタル社会基盤の強化 | ・デジタル地域通貨等のスキームの検討 ・アプリやポイントの一元化の検討 |
| DX専門官 川口 弘行 川口弘行合同会社 代表社員 | ⇒市民サービスの根幹である自治体システムの標準化・クラウド化への確実かつ円滑な移行に向けた 横断的なプロジェクトマネジメント | ⑦ スマートワークの実現 | ・窓口部門のレイアウト等の検討 |
| | | ⑤ 業務のデジタル変革 | ・自治体情報システムのシステム標準化・共通化 ・ガバメントクラウドへの移行検討 |
| DX専門官 下山 紗代子 (一社)リクデータ代 表理事 | ⇒デジタル化により生み出されるデータを最大限に生かす 仕組・環境（データアーキテクチャ）の構築を進める | ⑧ データの利活用 | ・AIカメラやセンシング技術等を活用したデータ収集手法の検討 |

※上記以外にも、目に見えている問題の解決だけでなく、新たな発想のもと、本市がDXによってよりよくなるための提案、また、それらの実現に向けた**職員への指示・実行も担う**

任用までの経過

①任用条件の検討及び候補者の選定

令和5年2月～3月

- ☞ 任用形態は、「任期付職員」と「特別職非常勤職員」を比較検討し、多忙な人材においても柔軟な働き方を設定できることから「特別職非常勤職員」を選択
- ☞ 本年2月に策定した「宇都宮市DX実現タスク」の重点取組事項を牽引いただく方で、国が示す地域情報化アドバイザーのリストや、これまで本市職員を対象とした研修・講演や助言を実施いただいた方などの中から、本市の求める役割をご理解いただけた方を選定

②候補者面談及び任用準備

令和5年3月～5月

- ☞ 勤務時間や任用形態、報酬などの任用条件を提示するとともに、各候補者に求める役割や具体的な業務内容等について担当者が意見交換を行いながら最終的に幹部職員と面談を実施
- ☞ CDXO補佐官設置要領及びDX専門官設置要領の作成など、事務的な準備作業を実施

③任用

令和5年5月26日

- ☞ 辞令書、勤務条件通知書の交付、誓約書（守秘義務規定）の取り交わし
- ☞ 任用式の実施

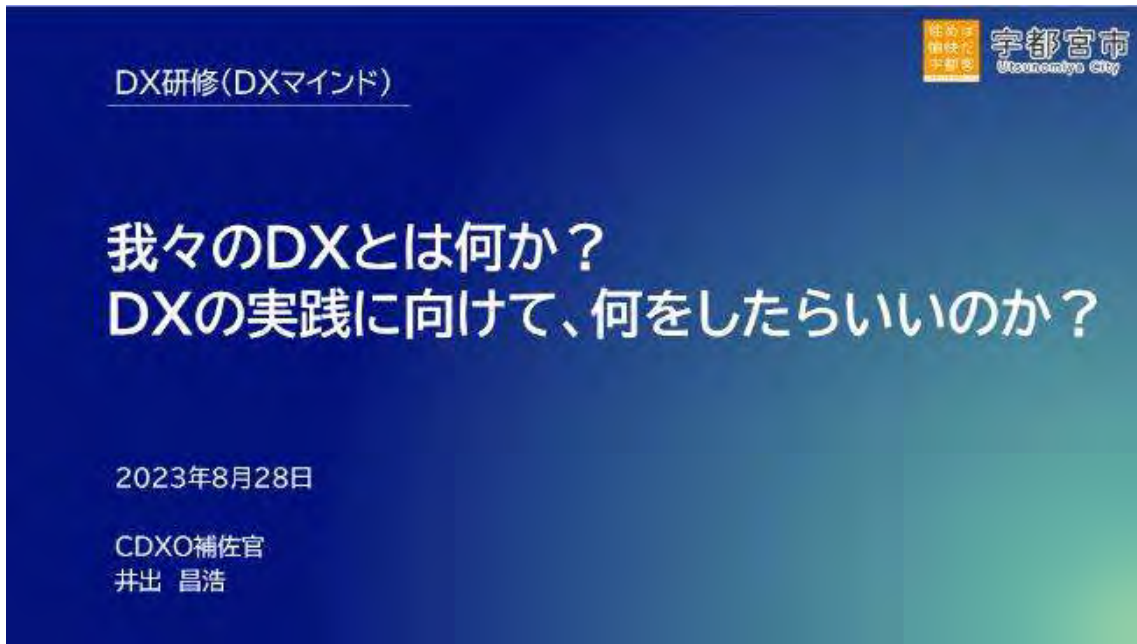
人材

organization

行政DXの実現 「人材（幹部級）」

▶ 【取組例】 管理職をはじめとし ⇒ 全職員のDX意識を醸成

- ▶ 井出CDXO補佐官を講師として、全職員対象のDXマインド研修を実施（管理職は対面、その他職員は動画）
- ▶ 管理職に対しては、部下の業務に対する変革を受入れ、検討及び実行へと支援するよう意識醸成を図る。
- ▶ その他職員に対しては、デジタル技術を活用して、市民サービスの付加価値の向上を生み出そうとする組織・文化を創る意識の醸成を図る。



管理職対象DX研修 (R5.8.28)

行政DXの実現 「人材（DX推進人材）」

▶ 【取組例】 庁内に隠れているデジタル人材の発掘

- ▶ 試行的に、民間事業者の協力の下、職員を対象に「ノーコード開発研修（初級・中級）」を開催（30人が参加）
- ▶ 新たなデジタルツールの活用に興味・関心を持つ職員をリストアップし、新年度の人事異動の参考に



サイボウズ自治体ハンズオン研修（R4.11.15）



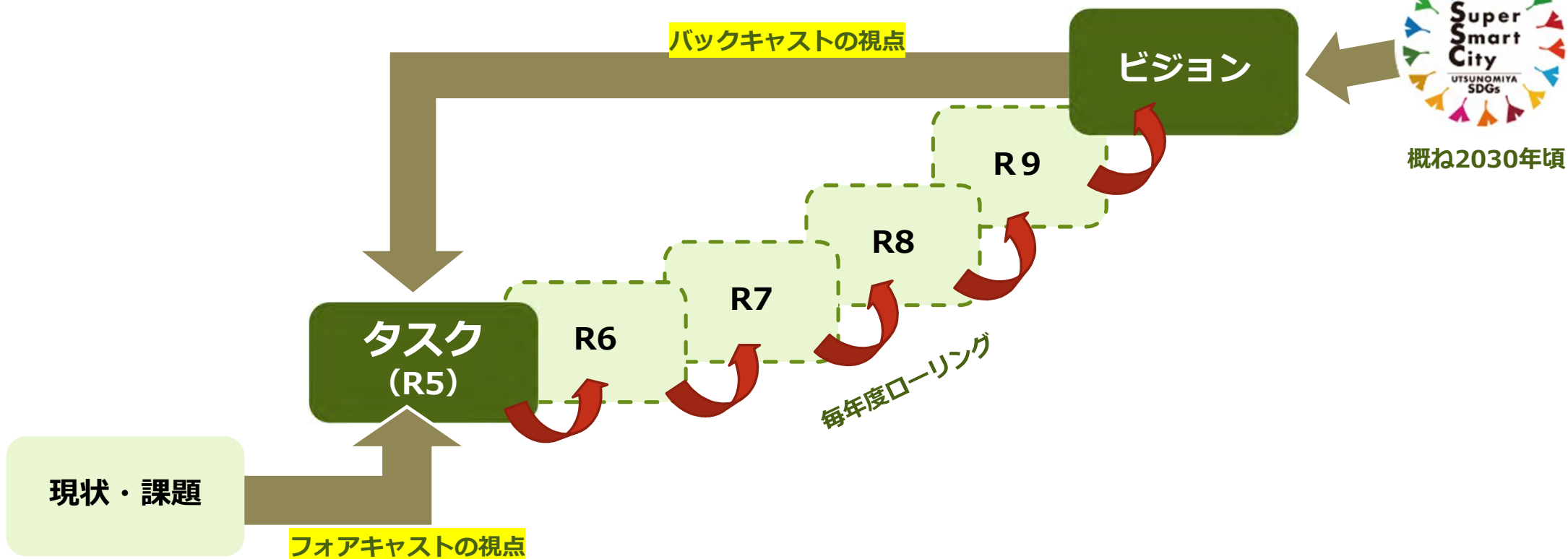
サイボウズアプリ作成相談会（R4.11.28）

今後の展望

future prospects

D X 実現タスクのローリング

- ▶ 社会環境の変化により生じる新たな行政課題への迅速な対応と、日々進展するデジタル技術の積極的かつ柔軟な採用ができるよう、毎年度、D X 実現タスクを修正しながら施策を実行していく



D X 実現タスクで目指すところ

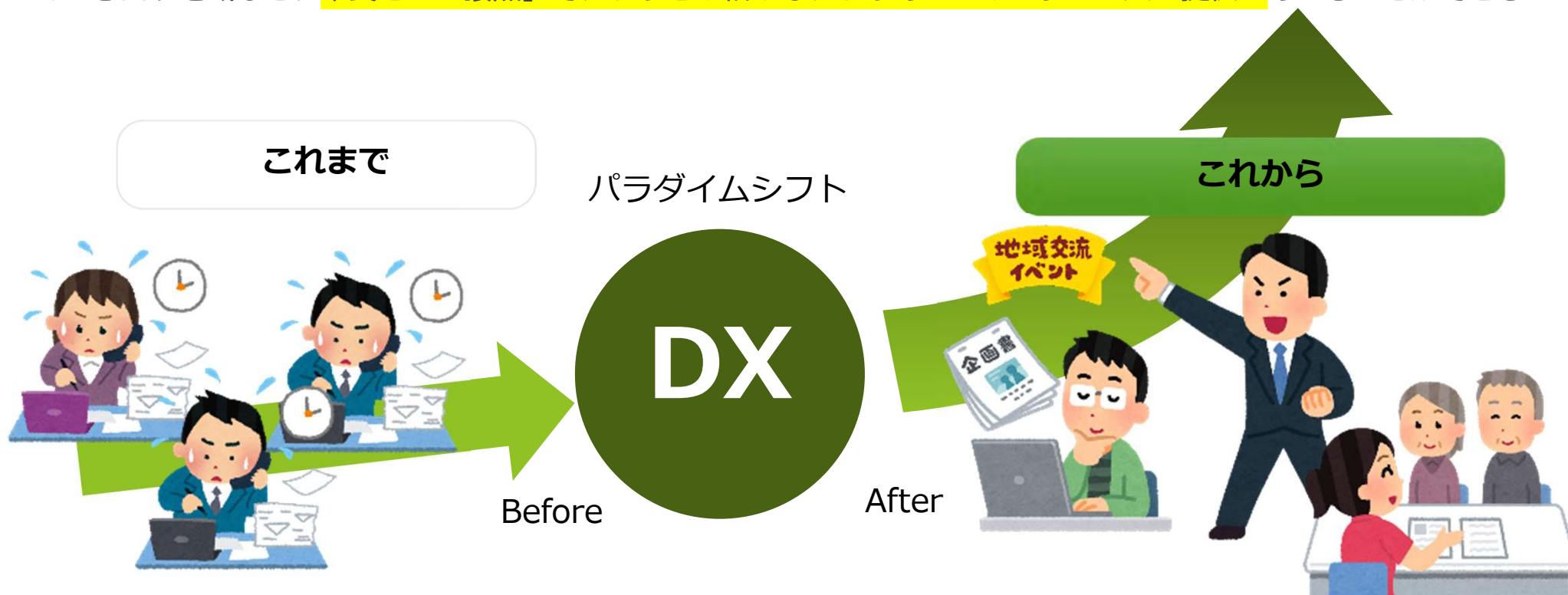
▶ 市民が「変わった」ことを実感できる目標を設定。5年以内での達成を目指す

| | 市民視点 | 行政視点 |
|-------|--|---|
| サービス | ①スーパースマートシティ実現に向けたデジタルサービスの提供等 デジタルサービスの恩恵を享受している市民の割合： 66% | |
| 手続・業務 | ②スマート窓口の実現 行政手続オンライン化数： 500手続 <small>※対面等どうしても規制があるものをのぞくすべての手続</small> | ⑤業務のデジタル変革 AI・RPA活用業務数： 120業務 |
| 人 | ③デジタルデバイド対策・デジタル人材育成 宮デジサポーター数： 120人 | ⑥庁内DX人材の育成・確保 ノーコード開発ができる職員： 300人 |
| 環境 | ④デジタル社会基盤の強化 マイナンバーカード普及率： 100% | ⑦スマートワークの実現 執務室改善： 本庁舎全フロア |
| データ | ⑧データの利活用 行政課題の解決に資するデータを活用した伴走型モデル事業数： 10件 | |

職員の働き方がどう変わるのか

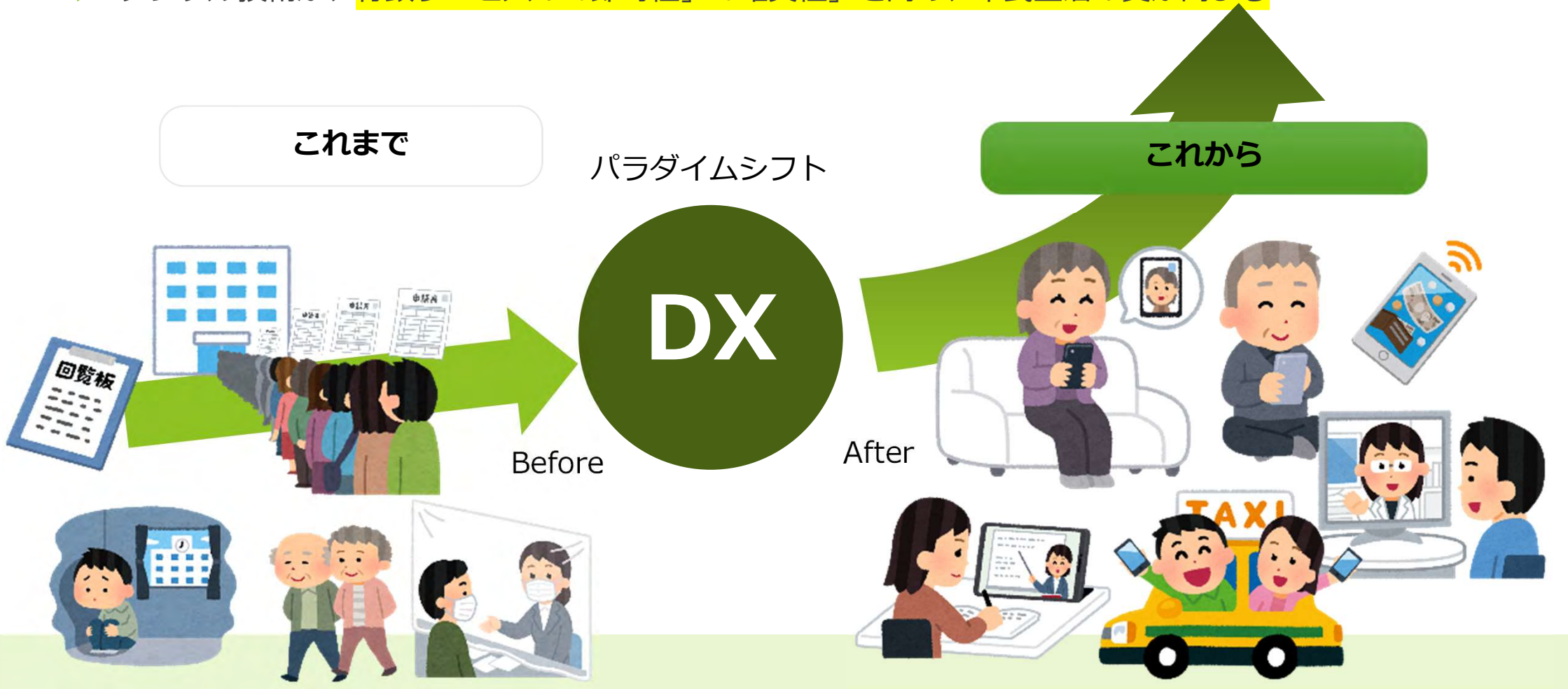
▶ 職員が「注力すること」が変わる

- ▶ DXによって新たに生み出された時間は、「職員の削減」ではなく、「本来の業務への注力」に！
- ▶ 窓口や地域など、市民との「接点」で、よりきめ細かな、よりあたたかいサービスの提供にあたることができる



市民の生活がどう変わるのか

- ▶ 市役所・職員を介さずとも、自宅など身近なところであらゆる行政サービスが利用できるようになる
- ▶ デジタル技術が、行政サービスの「即時性」「確実性」を高め、市民生活の質が高まる





宇都宮市
Utsunomiya City

御清聴ありがとうございました

Super Smart City